



「あたらしい」を築く「あたらしい」社会へ ～パートナーシップ・セミナーの開催～

●いざというときの「男性の介護教室」

日 程	時 間	内 容
11月13日(日)	10:00～12:00	介護の基礎とコミュニケーション
11月27日(日)	10:00～12:00	介護の具体的な方法と体験
12月11日(日)	9:30～12:00	介護食の調理方法

会場 松橋西防災拠点センター
※11/27(日)のみ熊本介護人材養成センター
対象 市在住または勤務の男性とその家族
(夫婦や親子での参加もできます。)
定員 20人
申込期限 10月31日(月)

申し込みフォーム

【共通】 **参加費** 無料
申込方法 申し込みフォーム、電話、FAX
※申し込み多数の場合は抽選。

●女性のための「初心者向け起業セミナー」

日 程	時 間	内 容
10月14日(金)		夢の実現を学ぼう
11月27日(日)	13:30～15:30	可能性を広げよう
11月11日(金)		失敗しないための経営のコツ

会場 松橋西防災拠点センター
対象 市在住または勤務の女性
定員 12人程度
申込期限 10月10日(月)
※電話の場合は10月7日(金)17時まで

申し込みフォーム

みんなで学ぼうじんけん

生涯学習課 ☎32-1934

「私たちは今、手厚い看護と介護で安らかに暮らしています。でも、ここに行き着くまで、たくさんの苦しい闘いがありました。」この療養所の中だけが私たちの世界の全て。逃げ出そうとした患者は監禁室に閉じ込められた。家族や故郷から引き離され連れて来られた。壁の中でずっと考えてきた、人生の意味を「そして行き着いた考え。人となることが。隣にいた知らない人がかけがえのない仲間になった。」

スクリーンの望郷の穴が黒い欠落部を作り、映像に臨場感と重みを持たせます。新館の展示室に「生きた軌跡」という題の、向かい合う2体の手のブロンズ像がありました。長く連れ添った入所者夫婦の手を型取りして作成されたもの。そばには、「曲がりたる 手は人中に 隠しをり 無菌となりて 久しきものを」という短歌があり、当事者に沈黙を強いる差別の酷さと、それ故に園内での「かけがえのない」出合いを通して、入所者が人生を大切に生きてこられたことが伝わってきます。

ひろみち
本田博通地域人権教育指導員が学校で働いていた経験などから「じんけん」の今をお伝えします



ハンセン病歴史資料館を訪ねて

5月にオープンした資料館は、菊池恵楓園内にあります。館内入り口のガイダンスシアター。畳2つ分ほどのスクリーンはコンクリート製で何と手のひら大の穴が開いています。説明を読むと、これは以前、園を囲っていた壁で入所者の逃亡を防ぐためのもの。穴は入所者が望郷の思いで開けた跡でした。映像と共に、テロップが流れます。

「ハンセン病に対してだけでなく、偏見や差別は当たり前のように日常にある。さあこのパトンを受け取って。あなたが社会を変える一人となってくれば、私たちの人生には意味があったと思います。」ガイダンス最後の言葉に、スクリーンを見つめたまましばらく席を立てませんでした。

消費者トラブル 注意報
商工観光課 ☎32-1604

質の高い教育をみんなに
令和5年度 子育て応援

通信販売サイトを装った偽サイトに注意

事例 「アウトドア用品の公式通信販売サイトを装った偽サイトで、商品を注文してしまった。」といった相談が、令和3年の秋以降各地の消費生活センターなどに数多く寄せられています。

アドバイス

- クレジットカード情報を入力する前に、公式通信販売サイトの URL であるか確認を。
- 「SNS 上に表示される広告」に掲載された URL でも注意が必要です。
- 「販売価格が極端に安い」「支払方法が不自然」なものは偽サイトの可能性があります。



相談は **宇城市消費生活センター ☎33-8277** へ

郷の記憶をたどる

文化スポーツ課 ☎32-1954

私たちが暮らす宇城市の郷土にまつわるさまざまな文化の魅力を発信します



郷土資料館



開館時間 10時～17時
休館日 月・木曜(祝日の場合はその翌日)
住所 豊野町糸石3818 ☎45-2102

県指定史跡 宇賀岳古墳



発見当時の写真



現在の宇賀岳古墳

宇賀岳古墳は、岡岳総合運動公園内にある小丘陵の頂上に位置する装飾古墳です。装飾古墳とは、内部にある石で作られた埋葬用の部屋(石室)に、線や彩色で絵が描かれている古墳のこと。熊本県はその装飾古墳が日本で最も多い県です。宇賀岳古墳は其中でも特に重要な装飾古墳として、昭和51年に県の史跡に指定されました。

発見された当初は、石室が地面の上にむき出しの状態でしたが、昭和55・56年に発掘調査と保存施設の整備が行われ、現在の形に。調査の結果、直径約10数mの円墳で、6世紀に造られたと推定

されました。

石室の奥側と左右の壁には、横方向の直線とその間に円、三角の文様が彫られており、赤や装飾古墳の中でも珍しい緑の顔料が塗られています。

また、奥壁に残った刀を掛けられる2カ所の突起の跡から、副葬品があったとも考えられますが、石室がむき出しの状態だったことから、盗掘などにより失われてしまったと推測されています。

現在、新型コロナウイルス感染症のため一般



奥壁の装飾

公開を中止していますが、再開が決まったら、広報紙やホームページでお知らせします。ぜひ現地で実物をご覧ください。